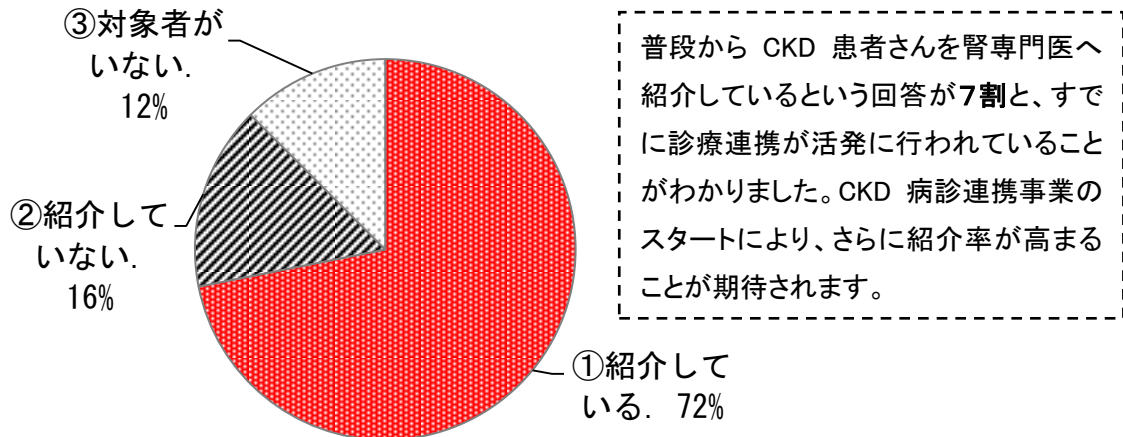


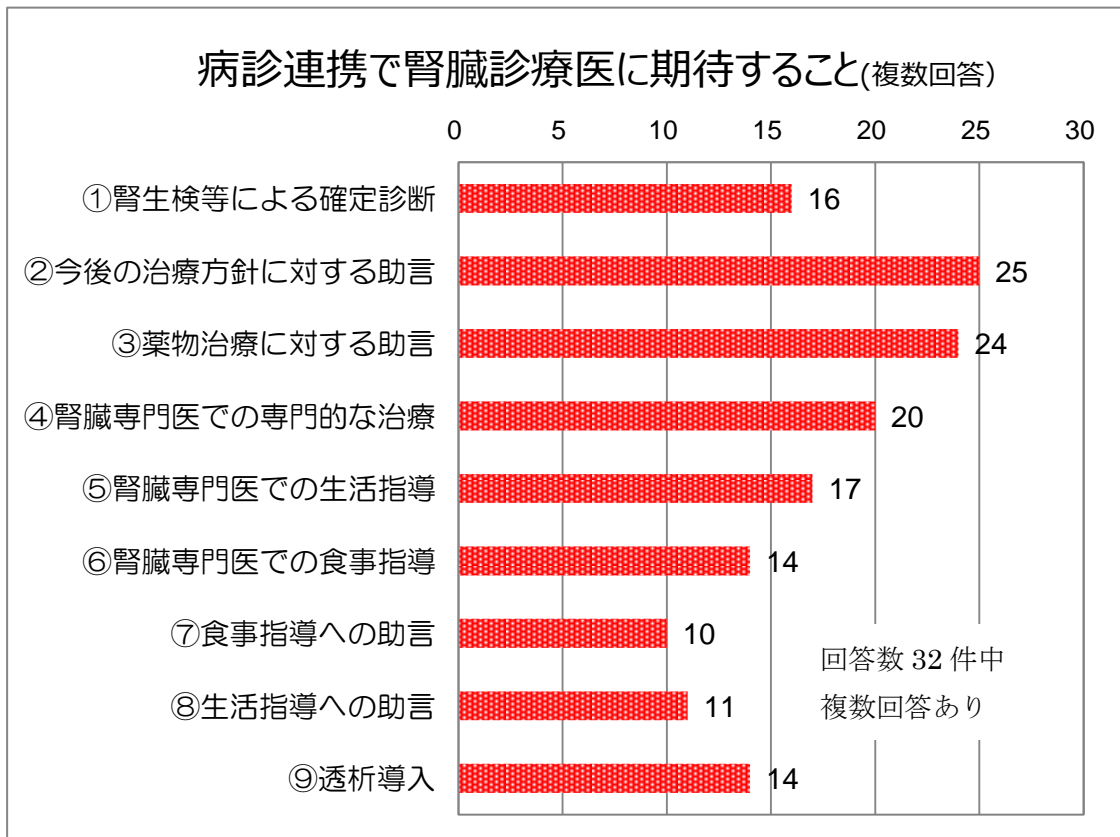
**CKD 登録医募集説明会 参加者の声 ～続編～** 第3号 2016年3月発行

※病診連携に関するアンケート調査を先生方に行いました (回答数32件)

**問1. 普段からCKD患者さんを腎臓専門医に紹介していますか？**



**問2. 病診連携で、腎臓診療医に期待することを教えてください。**



期待するとの回答が多かったのは「今後の治療方針に対する助言」、次いで「薬物治療に対する助言」でした。かかりつけ医の元で CKD 治療を継続していくために、専門的な立場からの助言を期待している意見が多かったです。

<次ページへ続く>

問3. 今回の説明会に関して質問・疑問などがありましたらご記入ください。

●CKD登録医承諾書ですが、FAXでの提出という文面があればわかりやすいと思います。あとはよくわかりました。
●走ってみないとわかりませんが、在宅医療を受けておられる患者さんへの対応に不安があります。往診可能な腎専門医が居れば良いのですが・・・
●FAXでの報告は特定健診からの拾い上げの分だけですか？例えば通院患者さんからの紹介はFAX報告に含みますか。⇒(回答) <b>通院患者さんの紹介も含みます。</b>

問4. 那覇市のCKD対策について

ご意見ご要望がありましたらご記入ください。

●紹介先の専門医の間での対応に、若干差を感じる事が以前にありました。紹介される患者さんが納得される連携であって欲しいと思います。
○腎臓診療医(二次医療機関)を将来的にはもっと増やして欲しい。(当院は豊見城市に近いのですが豊見城市の病院への紹介を希望される患者さんも多いため) ⇒(回答) <b>別紙の医療機関紹介リストをご参照ください。</b>
●今後協力できればと思っています。
●①腎臓専門医(専門機関)を数多くすることが大切と考えます ②早期に紹介したいが、いかに患者さんを説得するか ③Cr2mg/dlをこえたら専門医紹介を心がけております
●開業医でできる簡単な減塩の説得ポイントなど
●那覇市以外の病院への紹介希望が多いが、その場合もFAX連絡票は必要ですか。⇒(回答) FAX 連絡をお願いします。近隣医療機関には CKD 病診連携に入っていたと予定です。
●広報を行い、一般市民に周知していただくとクリニックから専門医への紹介を提案し同意を得られやすくなると思うので、よろしくお願いします。
●今後、ICTを活用した紹介システムを早めに導入して欲しい。
●特定健診課へのFAX連絡が面倒です。連絡方法の改善。 基準の尿蛋白/尿Cr比、3ヶ月以内の30%低下も必須ですか。

※上記、問3、問4にあがった質問については、別紙の「Q&A」としてまとめていますので、そちらもご確認ください。

～アンケートへのご回答ありがとうございました～